

ISSN-1348-8872

AMAMI News Letter

NO.28

<2006年度 秋季号>



■研究調査レビュー

企画イベント「世界自然遺産と持続的な発展」

桂庵500年祭に向けて

奄美におけるマンゴー生産の現状と課題(下)

■しまゆむた

奄美ですすむ鹿児島大学との連携

奄美サテライト教室での受講感想－奄美群島の世界自然遺産登録に寄せる思いを中心に－

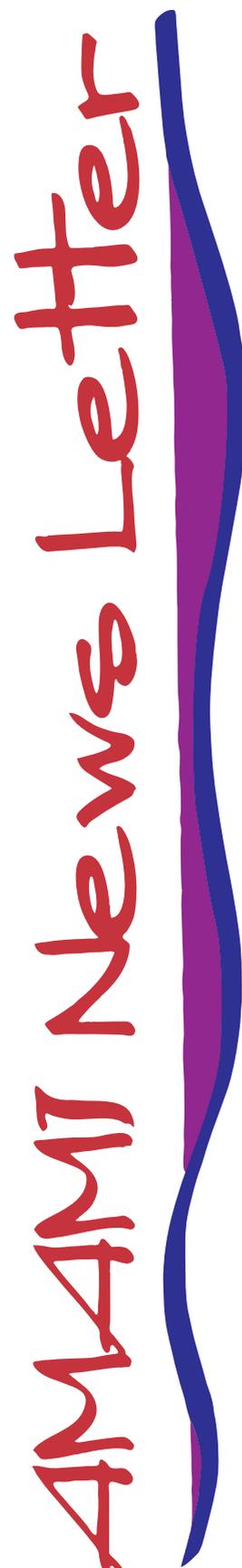
■ Research Review

- 1 Project Event “World Natural Heritage and Sustainable Development of the Amami Islands”
Yamada Makoto (LEH)
- 5 For the 500th Anniversary of Keian
Higashi Hidetoshi (LEH)
- 11 Mango Production in Amami and its Problems
Kitazaki Kōji (LEH)

■ Amami Report

- 17 Growing Partnerships with Kagoshima University in the Amami Islands
Hanai Kōzō (Director, Amami City Planning Department)
- 24 Comments on the Amami Satellite Campus
Takarabe Megumi (Graduate Student, Graduate School of Humanistic-Sociological Sciences)

■ Information



KAGOSHIMA UNIVERSITY

奄美ニューズレターについて

- 奄美ニューズレターは、2003年度からはじまった鹿児島大学全学総合プロジェクト「島嶼圏開発のランドデザイン----南西諸島における環境ガバナンス型地域政策」の成果を発表する目的で発刊されました。
- 奄美群島および沖縄を含む広い南西諸島を沖縄ではなく、奄美群島から分析しようという新しい試みです。
- 研究は、文化・自然・人・経済・情報・農学・工学という鹿児島大学の研究者を中心とする研究グループによって行われております。奄美ニューズレターは、その研究を広く南西諸島の研究者に公開し、わが国の島嶼研究の向上を目指すものです。
- 奄美ニューズレターは、2005年11月に発刊された24号まで、月刊でしたが、2006年1月発刊の25号からは、発行責任を奄美委員会が担うことになり、1年間計4号を季刊で発刊することになりました。
- 奄美ニューズレターは、25号から季刊の学術雑誌となり、下記の内容を掲載いたします。
 - ・研究調査レビュー 鹿児島大学所属の研究者からの成果発表
 - ・しまゆむた 奄美群島区の地元研究者からの現地レポート
 - ・島嶼スケッチ 上記以外の寄稿文
 - ・鹿大資料紹介 鹿児島大学所蔵奄美資料の紹介
 - ・ちーびし 執筆者紹介、奄美関連の行事案内、編集後記
- 企画と編集を担当する奄美委員会のメンバーは、下記のとおりです。

奄美委員会

研究科長	木部 暢子			
奄美サテライト特任教授	井上 晃男			
奄美委員会委員長	山田 誠			
法政策学科選出委員	飯田 泰雄	永野 司		
経済情報学科選出委員	皆村 武一	山田 誠	山本 一哉	
人文学科選出委員	桑原 季雄	東 英寿	西村 明	

目次

■研究調査レビュー

- 企画イベント「世界自然遺産と持続可能な発展」
山田 誠（鹿児島大学法文学部） —————1
- 桂庵 500 年祭に向けて
—鹿児島県知事・阪本鈺之助の祭文と 400 年祭—
東 英寿（鹿児島大学法文学部） —————5
- 奄美におけるマンゴー生産の現状と課題（下）
北崎 浩嗣（鹿児島大学法文学部） —————11

■しまゆむた

- 奄美ですすむ鹿児島大学との連携
花井 恒三（奄美市企画部長・前奄美群島広域事務組合事務局長） —17
- 奄美サテライト教室での受講感想
—奄美群島の世界自然遺産登録に寄せる思いを中心に—
財部 めぐみ（鹿児島大学大学院人文社会科学研究所博士前期課程・奄美サテライト教室受講生） —24

■ちーびし —————30